

冬季観光PR誌「函館冬ナビ」ウェルカムプレゼント 当選者対象アンケート 調査結果

平成23年5月18日
北海道新幹線新函館開業対策推進機構

■冬季観光PR誌「函館冬ナビ」ウェルカムプレゼント概要

- (1) 配布数等：関東・東北地方で開催された北海道物産展等で15,000部を配布
- (2) 応募期間：平成22年9月10日～11月1日（消印有効）
- (3) 応募方法：冊子巻末の応募ハガキ
- (4) 応募総数：921通
- (5) 賞品内容：
 - A賞：最寄りの東北新幹線各駅（東京～新青森）から函館駅までの往復乗車券・特急券
 - B賞：函館市内（駅前・五稜郭・湯の川）ホテルの一泊朝食付ペア宿泊券
 - C賞：大門横丁グルメ&体験観光利用クーポン5,000円分（500円券×10枚）
- (5) 当選本数および利用実績：

	当選本数	利用件数	利用率	備考
A賞	10 本	9 件	90 %	東京発5件、大宮発3件、八戸発1件
B賞	43 本	12 件	28 %	東京6名、埼玉3名、岩手・栃木・神奈川各1名
C賞	50 本	8 件	16 %	体験観光10枚、大門横丁62枚
合計	103 本	29 件	27 %	

■冬季観光PR誌「函館冬ナビ」ウェルカムプレゼント アンケート概要

- (1) 調査期間：平成23年3月4日～3月24日
- (2) 調査方法：郵送
- (3) 回答者属性：
 - ①送付数 103通
 - ②回答数 77通（回答率74.7%）
 - ③属性

<年齢>

	件数	構成比
10代	2	2.6%
20代	0	0.0%
30代	11	14.3%
40代	10	13.0%
50代	15	19.5%
60代	27	35.1%
70代以上	12	15.6%

<賞品別>

	送付数	回答数
A賞	10	9
B賞	43	30
C賞	50	38

●設問および回答結果●

【問1】賞品はご利用になりましたか。

	n=77	n=9	n=30	n=38
	件数計	A賞	B賞	C賞
a.利用した	25	8	11	6
b.利用しなかった	40	1	14	25
c.他人に譲渡した	12	0	5	7

【備考】

実際の利用件数(29件)と数が合わないのは、回答cで譲渡を受けた人が実際に利用したかどうか不明なため

【問2】問1でb、cを選ばれた方にお聞きます。利用されなかったのはなぜですか。

	n=52	n=1	n=19	n=32
	件数計	A賞	B賞	C賞
a. 日程上の理由(まとまった休みが取れなかった等)	16	0	5	11
b. 経済的な理由(宿泊費等が負担となった等)	12	0	6	6
c. 季節・天候上の理由(冬の北海道は寒いので行きたくなかった等)	11	1	5	5
d. 賞品の内容が魅力に欠けていたため	1	0	0	1
e. その他	12	0	3	9

【備考】

○選択肢dで「どのような賞品なら利用したいか」を問う自由記述欄を設けたところ、
 ・もう少し長く選べる日があるとよかった(春5～6月くらいまで)【B賞】
 ・お酒が飲めないので、スイーツのお店でもクーポンが使えるとよかった【C賞】
 ・駅弁・お土産にも使えるクーポンだといい【C賞】
 ・北海道特産品をクーポン相当額で送って頂けたらうれしい【C賞】
 などの意見があがった。

○選択肢eの自由記述欄の主な内容は以下のとおり。
 ・健康上の理由(本人や家族の体調不良、入院、手術、介護等のため)
 ・北海道には2～3泊したいので、1泊の宿泊券では交通費をかけて行く気がしない【B賞】
 ・利用期間が、もう少し暖くなるまで使用できれば、行って使いたかった【C賞】

【問3】(B賞・C賞のみ)問1でaを選ばれた方にお聞きます。函館往復に利用した交通機関は何ですか。

	n=17	n=11	n=6
	件数計	B賞	C賞
a.往復飛行機	9	4	5
b.往復JR	8	7	1
c.片道飛行機・片道JR	0	0	0
d.フェリー等	0	0	0

【問4】問1でaを選ばれた方にお聞きします。函館へは何名でどなたといらっしゃいましたか。

＜何名で＞

	n=25	n=8	n=11	n=6
	件数計	A賞	B賞	C賞
a.1名で	6	4	0	2
b.2名で	17	4	10	3
c.3名で	1	0	1	0
d.4名以上	1	0	0	1

＜どなたと＞ ※＜何名で＞の回答が「1名で」以外

	n=19	n=4	n=11	n=4
	件数計	A賞	B賞	C賞
a.友人と	3	1	1	1
b.家族・親戚と	16	3	10	3
c.その他	0	0	0	0

【備考】

A賞12名、B賞23名、C賞13名、計48名（アンケート回答者関係分）が、ウェルカムプレゼントによって来函

【問5】問1でaを選ばれた方にお聞きします。旅行代金は総額でいくらですか。 ※各賞利用分を除く誘発額

	n=25	n=8	n=11	n=6	
	合計	A賞	B賞	C賞	
総額合計	2,859,700	423,600	1,386,100	1,050,000	
内訳	宿泊費	640,500	124,500	146,000	370,000
	交通費（A賞は現地交通費）	923,900	31,100	563,800	329,000
	飲食費	503,300	117,000	266,300	120,000
	お土産代	616,000	77,000	334,000	205,000
	その他	176,000	74,000	76,000	26,000
1件あたり	114,388	52,950	126,009	175,000	

【備考】

交通費は発地手配と思われるが、宿泊・飲食・土産代等は函館に経済効果を与えている
→詳細4ページ

【問6】問1でaを選ばれた方にお聞きします。今回のご旅行ではどちらに何泊されましたか。

＜何泊＞

	n=25	n=8	n=11	n=6
	件数計	A賞	B賞	C賞
a.0泊（宿泊なし）	1	1	0	0
b.1泊	8	2	5	1
c.2泊	13	4	5	4
d.3泊	3	1	1	1

＜どちらに＞ ※＜何名で＞の「回答泊数×利用件数」の合計=n

	n=43	n=13	n=18	n=12
	件泊計	A賞	B賞	C賞
a.函館	37	11	14	12
b.札幌	3	1	2	0
c.その他	3	1	2	0

<函館への延べ人泊数> ※<どちらに>のa.函館37件泊[(イ)×(ウ)]の詳細

問4再掲	問6内訳(イ)	件数(ウ)	人泊数(エ)	うちB賞人泊数(オ)	誘発人泊数
(ア)			(ア)×(イ)×(ウ)		(エ)-(オ)
a.1名で	6件	0泊	1		
		1泊	3	3	3
		2泊	2	4	4
		3泊			
b.2名で	17件	1泊	9	18	16
		2泊	7	28	4
		3泊	1	6	6
c.3名で	1件	1泊			
		2泊	1	6	2
		3泊			
d.4名以上	1件	1泊			
		2泊	1(5名)	10	
		3泊			
小計			25	75	22
					53

●まとめおよび考察●

○賞品経費および誘発効果一覧（アンケート未回答者4件分を除く）

区分	件数	賞品経費 (ア)	誘発消費額 (イ)	費用対効果 (イ)÷(ア)	誘発消費額 (来函交通費除く) (ウ)	費用対効果 (函館・道内分) (ウ)÷(ア)
A賞	8件	¥262,480	¥423,600	1.6倍	¥423,600	1.6倍
B賞	11件	¥110,000	¥1,386,100	12.6倍	¥822,300	7.5倍
C賞	6件	¥30,000	¥1,050,000	35.0倍	¥721,000	24.0倍
合計	25件	¥402,480	¥2,859,700	7.1倍	¥1,966,900	4.9倍

○考察

ウェルカムプレゼント当選者103件のうち、賞品を利用された方が29件(27%)に留まったのは、この賞品造成のコンセプトが、実際に函館に足を運んで貰い、経済波及を確実なものとするを目的としたことが背景にある。

そのことを確認するために行った本調査によって、賞品利用者29件中25件(誘発分含む48名)が消費した額は総額約286万、来函交通費を除く函館・道内消費額が約197万ということが明らかとなり、機構が拠出した25件分の賞品経費約40万(全て地元業者へ拠出)に対して、総額で約7倍、函館・道内分でも約5倍の経済効果が生まれたことが明らかとなった。また、これらは利用者が負担した直接消費額であるため、産業連関表を用いた波及効果を経済産業省平成17年産業連関表(全国・34部門別)からシミュレーションすると、函館・道内分の波及効果額は322万となり、賞品経費40万の8倍となる。

以上のことから、このプレゼント企画は投資額に対して相当の経済効果創出を実現しているといえ、可能な限り継続的に実施されることが望ましいといえるが、より一層の効果拡大のためにも、回答意見を参考としながら、利用率の向上が見込める賞品構成を検討したい。

当アンケート調査結果の詳細については、下記お問い合わせください。

本件担当：北海道新幹線新函館開業対策推進機構(函館商工会議所内)
永澤、鈴木 (TEL)0138-23-1181 (FAX)0138-23-1220